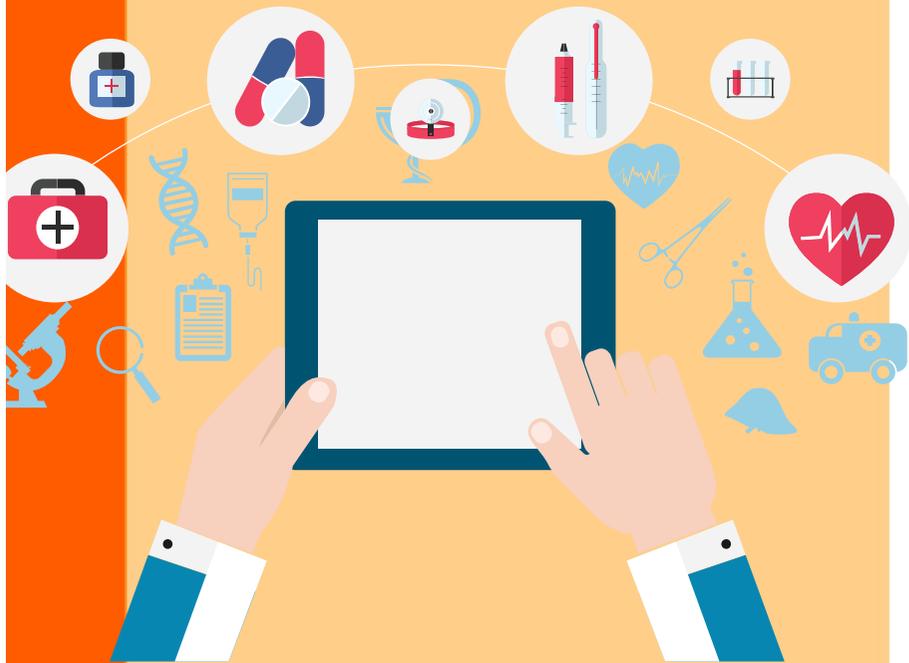


2025年12月期 通期決算説明資料

~事業計画及び成長可能性に関する事項~

2026/02/27

株式会社Welby
(証券コード 4438)



目次

1

会社概要

2

2025年12月期業績

3

今期重点取組施策と前期進捗

4

今後の成長

5

参考資料

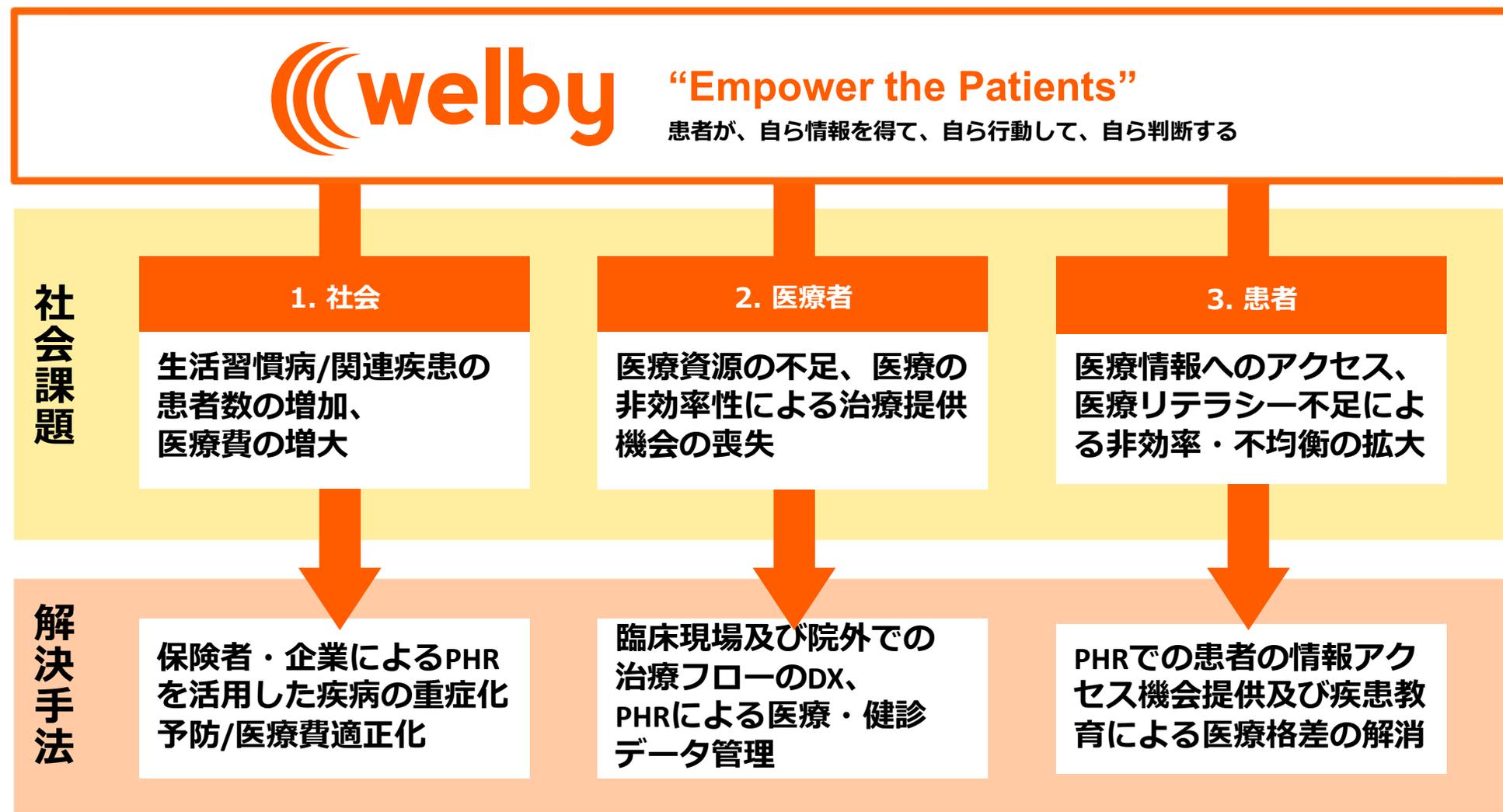


“Empower the Patients”

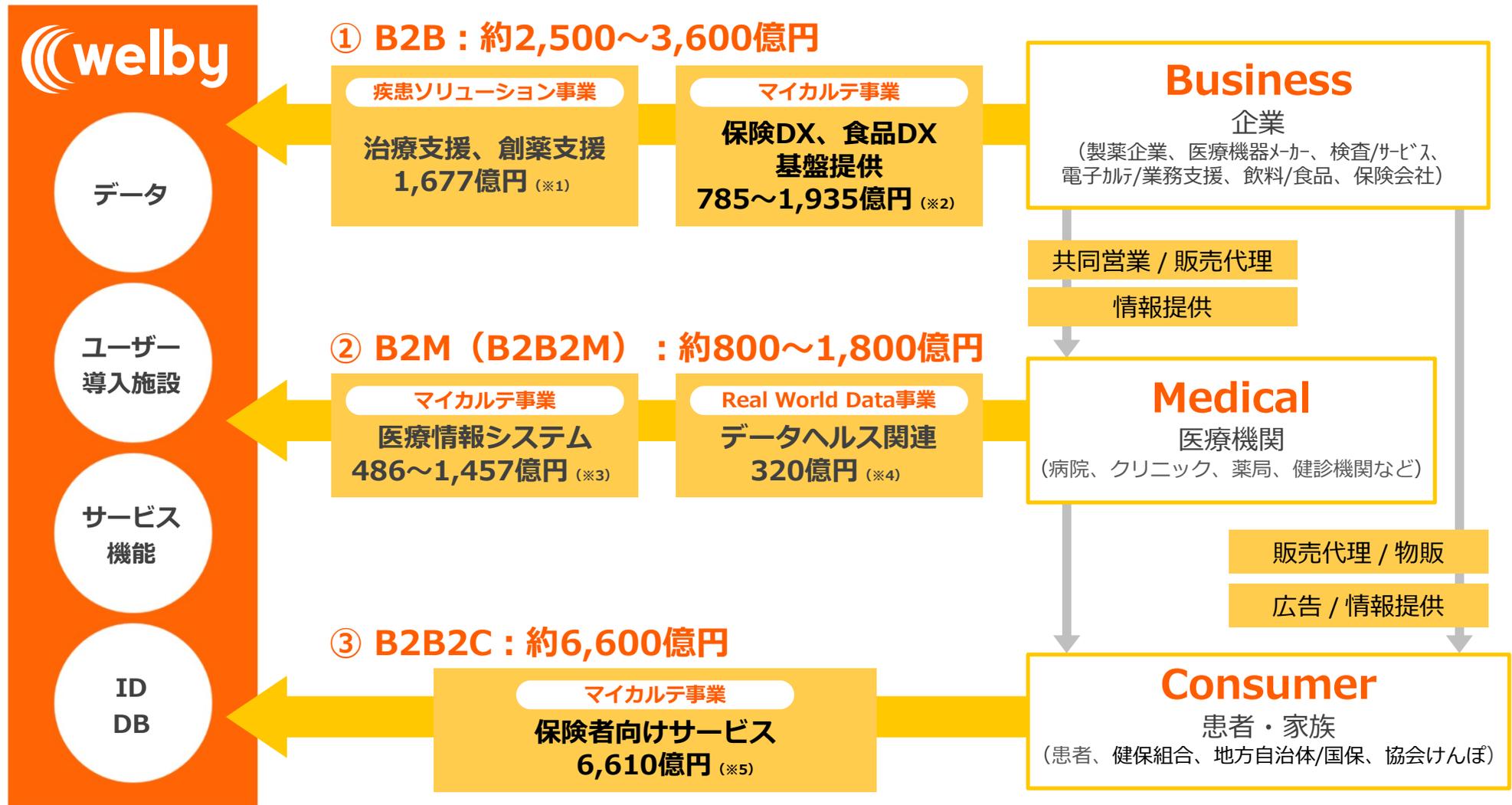
患者が、自ら情報を得て、自ら行動して、自ら判断する



- MissionであるEmpower the Patients の実現を通じて、医療にまつわる様々な社会課題の解決を図る



※PHR:Personal Health Recordの略で個人のHealth Recordを管理共有する仕組み



※1 富士経済:「2020年 医療ITのシームレス化・クラウド化と医療ビッグデータビジネスの将来展望 No.2」より、創業支援、医療ビッグデータ分析、医薬品開発支援、医療向けプロモーション市場規模の合計1284億円と、同文献項目、ビッグデータ活用治療・診断システムの市場規模3928億円のうち、10%にあたる393億を合算した1677億を潜在市場として想定。

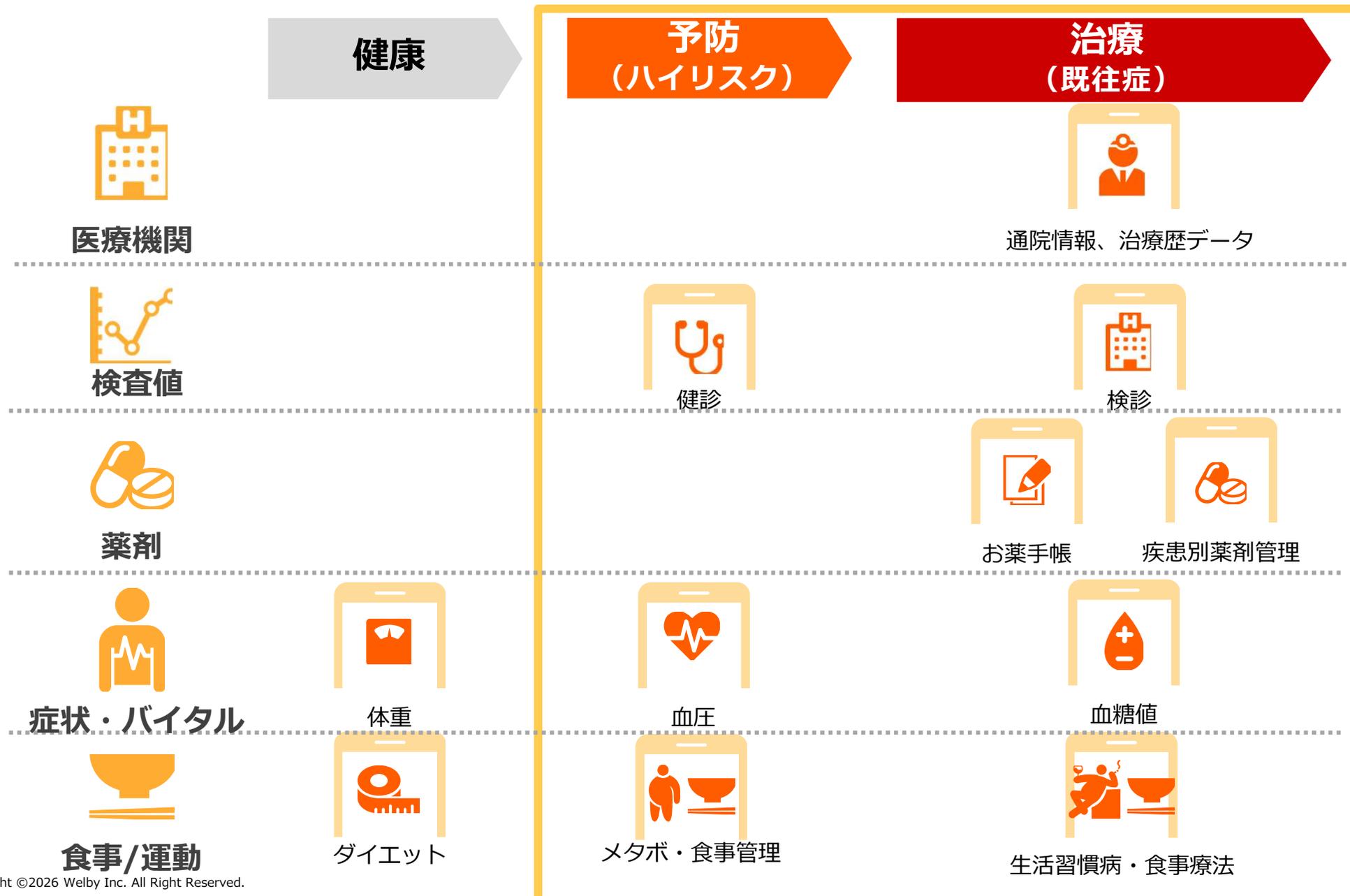
※2 保険DX市場は、矢野経済研究所:「2022 生命保険会社におけるInsuretech市場の実態と展望」における2022年同市場規模2,470億円の10%~30%を潜在市場として推定。
 食品DX市場は、dentsu:「日本の広告費」における2023年食品業界広告費2,104億円のうち、10%を潜在市場と推定。
 基盤提供は、富士キメラ総研:「ウェアラブル/ヘルスケアビジネス総調査 2023」より、システム・サービスの国内市場における2022年見込みの3280億円の10~30%を潜在市場として推定し、各市場を合算。

※3 富士経済:「2020年 医療ITのシームレス化・クラウド化と医療ビッグデータビジネスの将来展望 No.1」より、医療情報システムの国内市場規模4855億の10%~30%を潜在市場として推定。

※4 内閣府科学技術・イノベーション推進事務局:「戦略的イノベーション創造プログラム (SIP) 統合型ヘルスケアシステムの構築、社会実装に向けた戦略及び研究開発計画」より2026年のリアルワールドデータ市場規模推計値。

※5 経済産業省:「健康経営の推進について」(令和6年3月)より、「従業員が健康的に働けるように職場環境を整える企業・保険者向けサービス」の市場規模の金額。

- 当社は予防・治療領域に特化したPHRプラットフォームサービスを展開
- 治療領域では個別疾患領域単位でのニーズと専門性に対応し、対象医療機関連携を推進



「治療アプリ」として、PHRを処方する時代に

～医療機関にて患者に疾患別アプリを紹介：糖尿病、高血圧、がん等～

1 医師が患者にアプリを紹介

クリニック専用パンフレットで案内
クリニック専用アプリを提供



2 患者自身が記録あるいは自動反映

医療機関情報/検査値データ/薬剤/症状・バイタル
食事・運動等



4 療養指導を効率的/効果的に 患者の治療が継続

治療継続・効率化

アウトカム改善



3 データは医療機関・地域での連携 データをグラフ等で確認

患者の個人情報同意に基づき
医療機関のダッシュボードで確認



食事管理



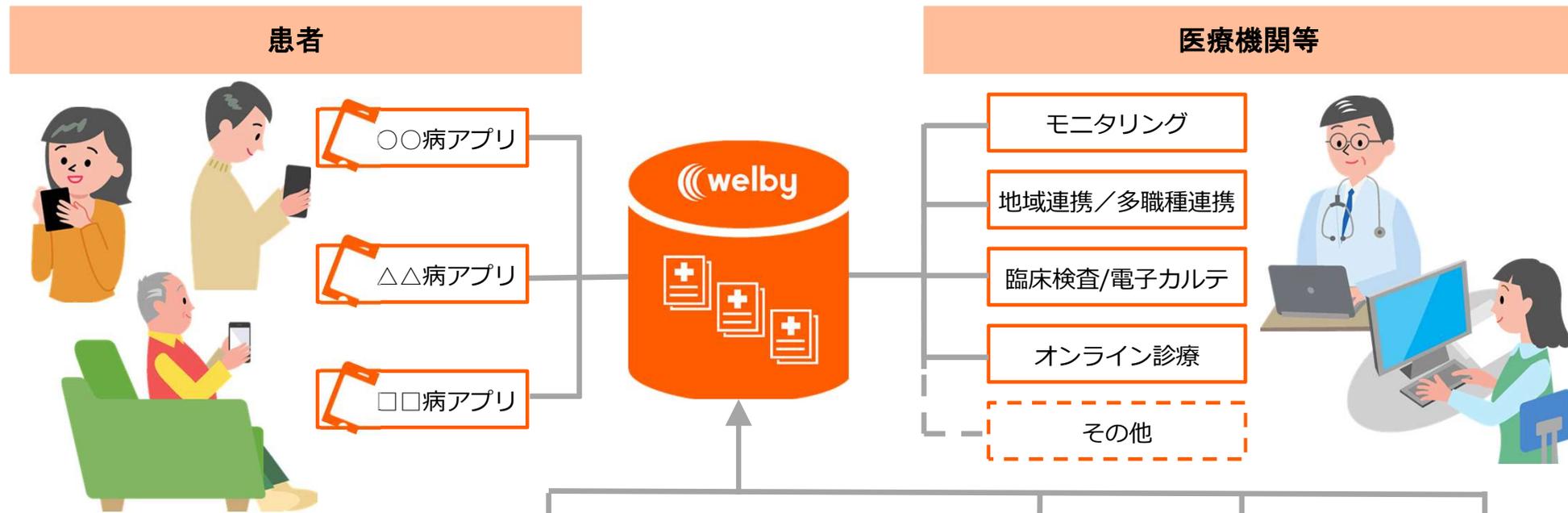
血圧・体重



血糖値



- 各種センサー機器、アプリケーション、マイナポータル及びMeDaCaサービスと接続した検査値データ等と連携可能な患者起点のデータプラットフォームを提供

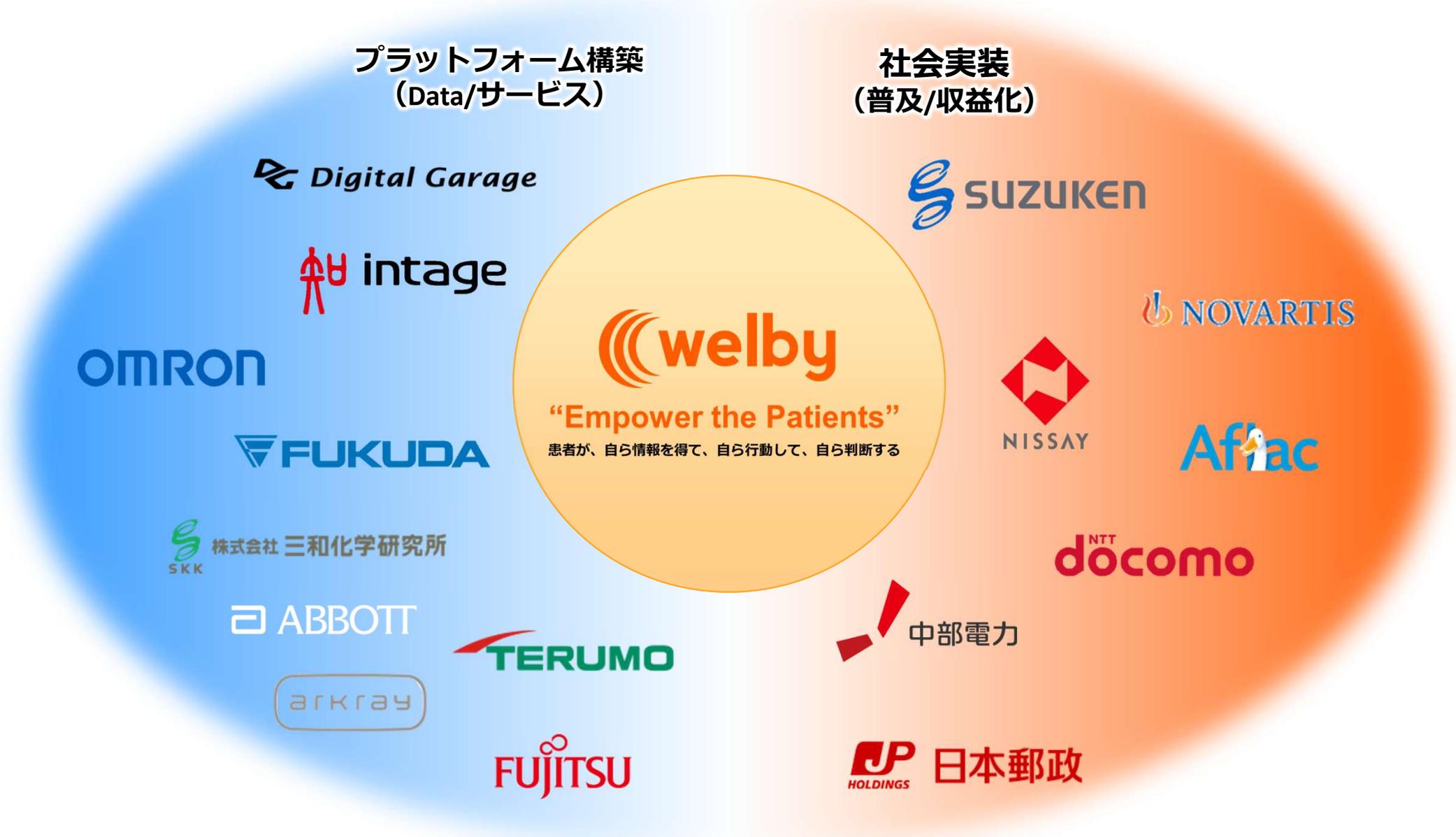


センサー機器		アプリケーション	マイナポータル	検査値データ
血圧/血糖値/体重/体組織活動量/不規則脈波/睡眠 など OMRON HEM-9200T HEM-7271T HEM-7281T HEM-7325T HEM-7511T HBF-255T-BK HBF-255T-R HBF-255T-W HEM-6323T HEM-6324T HEM-6325T HJA-405T-BK HJA-405T-G HJA-405T-W HJA-405T-WR *HEM-9200T2等は、スマートフォンアプリのダウンロードが必要です。		スマートフォンアプリ e-SMBG Fitbit DDA	・健診情報 ・予防接種/新型コロナワクチン接種記録 ・薬剤情報 マイナポータル	・メディカルデータカードとの連携による検査値データ MeDaCa
TERUMO ES-W7000Z WT-81000Z MS-FR2018 メディウォーク WT-K7000Z F0000Z アームイン監視 メディセーフフィット スマイル arkray グルコカード プラスケア QT-1949 QT-1939 株式会社 三和化学研究所 SKK グルコカード プラスケア 123 グルコカード プラスケア 123 FUKUDA DENSHI VaSera (QRコード)				

- データ連携によるサービス価値向上と、サービス普及による社会実装を各パートナー企業と連携して推進

プラットフォーム構築
(Data/サービス)

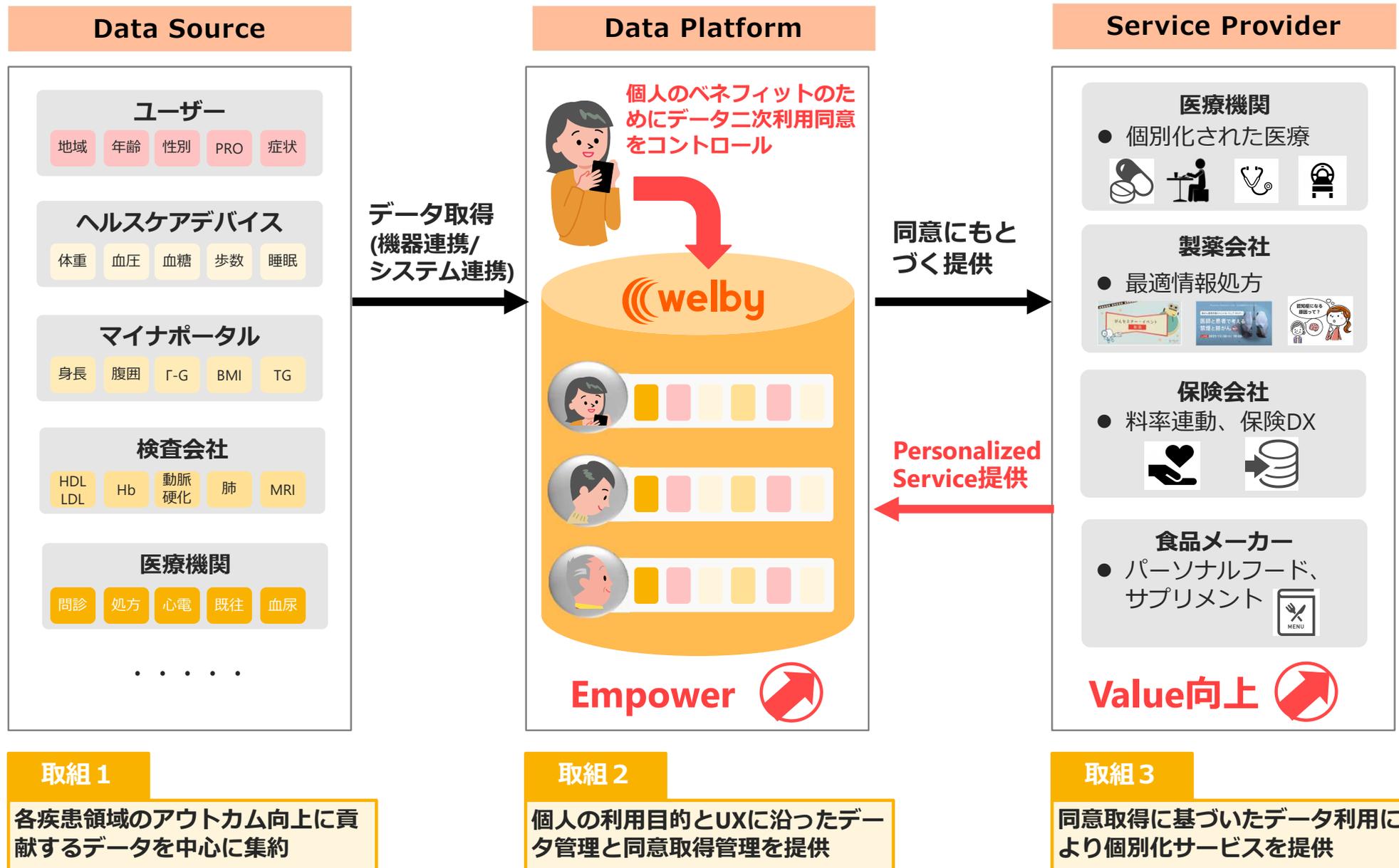
社会実装
(普及/収益化)



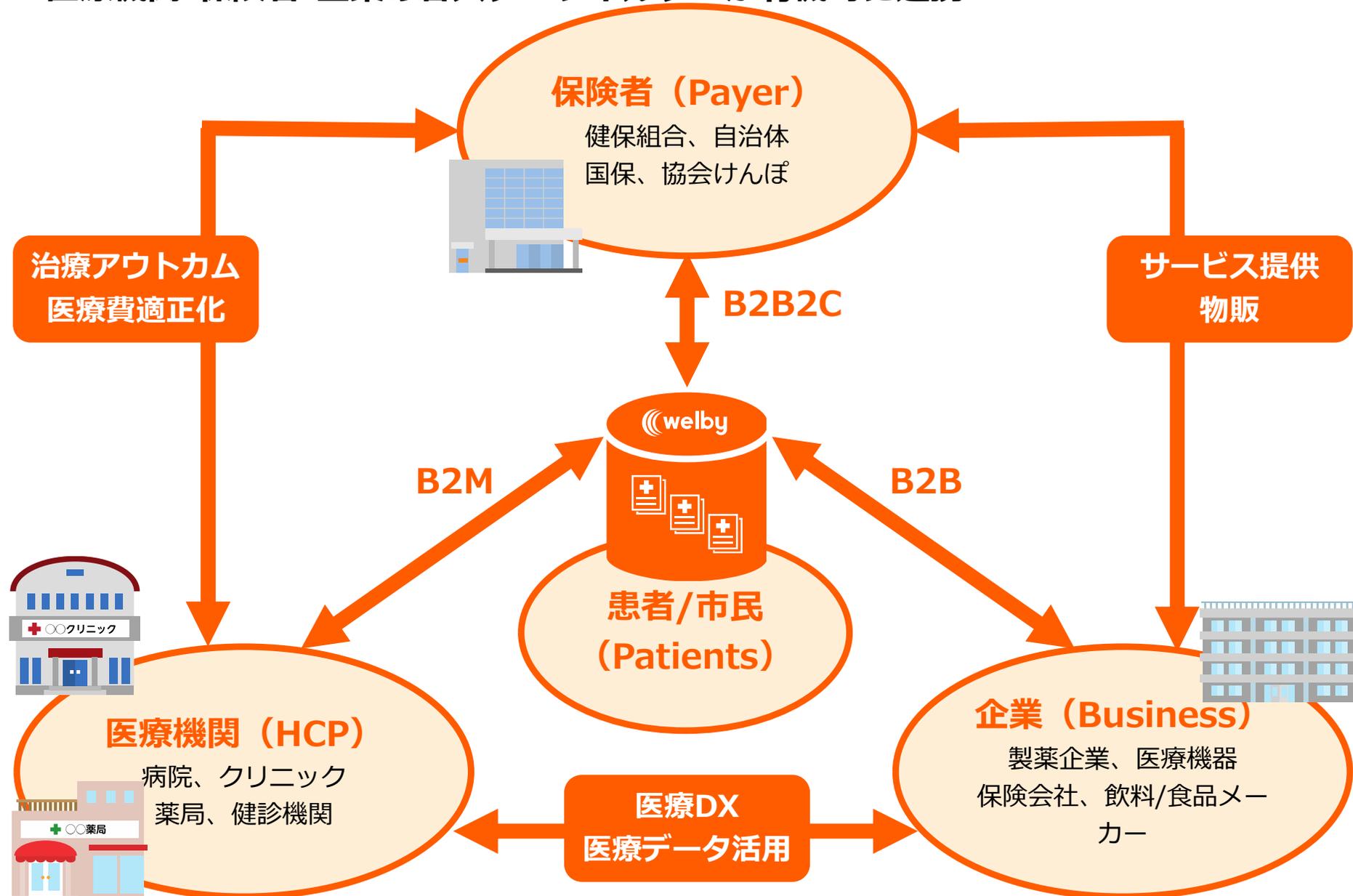
- 中期的な事業基盤の構築に向け、注力疾患領域戦略において医療機関及び患者向けの普及拡大を図る：循環器、糖尿病、オンコロジー

	事業戦略	KPIとその進捗(25年12月末)
プライマリー領域	<ul style="list-style-type: none"> • PHRサービス・データ利用の領域単位のプラットフォーム事業の拡大 • 多様なデータ連携によるデータポータビリティの推進(MeDaCaサービスによる検査値連携等) • ユーザー向けPersonalized（個別化）サービスの強化(保険者と連動しての重症化予防といったPHRデータ事業、疾患シミュレーションによる治療支援等) 	<ul style="list-style-type: none"> • マイカルテ契約医療機関数7,019軒 (内科系医療機関の9.8%) • 内科系医療機関の内、登録かかりつけ医療機関数比率： <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>循環器内科</p> <p>55.6%</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>糖尿病内科</p> <p>58.5%</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>内科</p> <p>35.1%</p> </div> </div>
オンコロジー領域	<ul style="list-style-type: none"> • 学会等を利用した医療機関において「マイカルテONC」導入の加速 • 患者向け医療教育プラットフォーム事業の立ち上げ • 臨床研究向けePRO、レジストリ研究によるデータソリューションの強化 	<p>がん診療連携拠点病院等の内、契約医療機関数比率： 医療機関464軒の内、65軒（14.0%）契約済</p> <div style="text-align: center;"> <p>14.0%</p> </div>

- 主に慢性疾患の治療・未病領域におけるアウトカム向上にフォーカス
- データの活用範囲を定め、同領域でサービス提供する顧客の事業拡大に貢献



- 各エリア単位（都道府県/市区町村/二次医療圏）で、患者の疾患治療ニーズに沿って、医療機関-保険者-企業の各ステークホルダーが有機的に連携



目次

1

会社概要

2

2025年12月期業績

3

今期重点取組施策と前期進捗

4

今後の成長

5

参考資料

- 事業面においては、PHRプラットフォームの本格稼働による企業向けソリューション提供や、データポータビリティ基盤を活用しての保険者や医療機関向け事業が新たな成長ドライバーに
- 中長期成長への先行投資を進めていたプラットフォーム開発については、稼働フェーズに入りコスト負担はピークアウトしており、次年度以降での収益性拡大を見込む

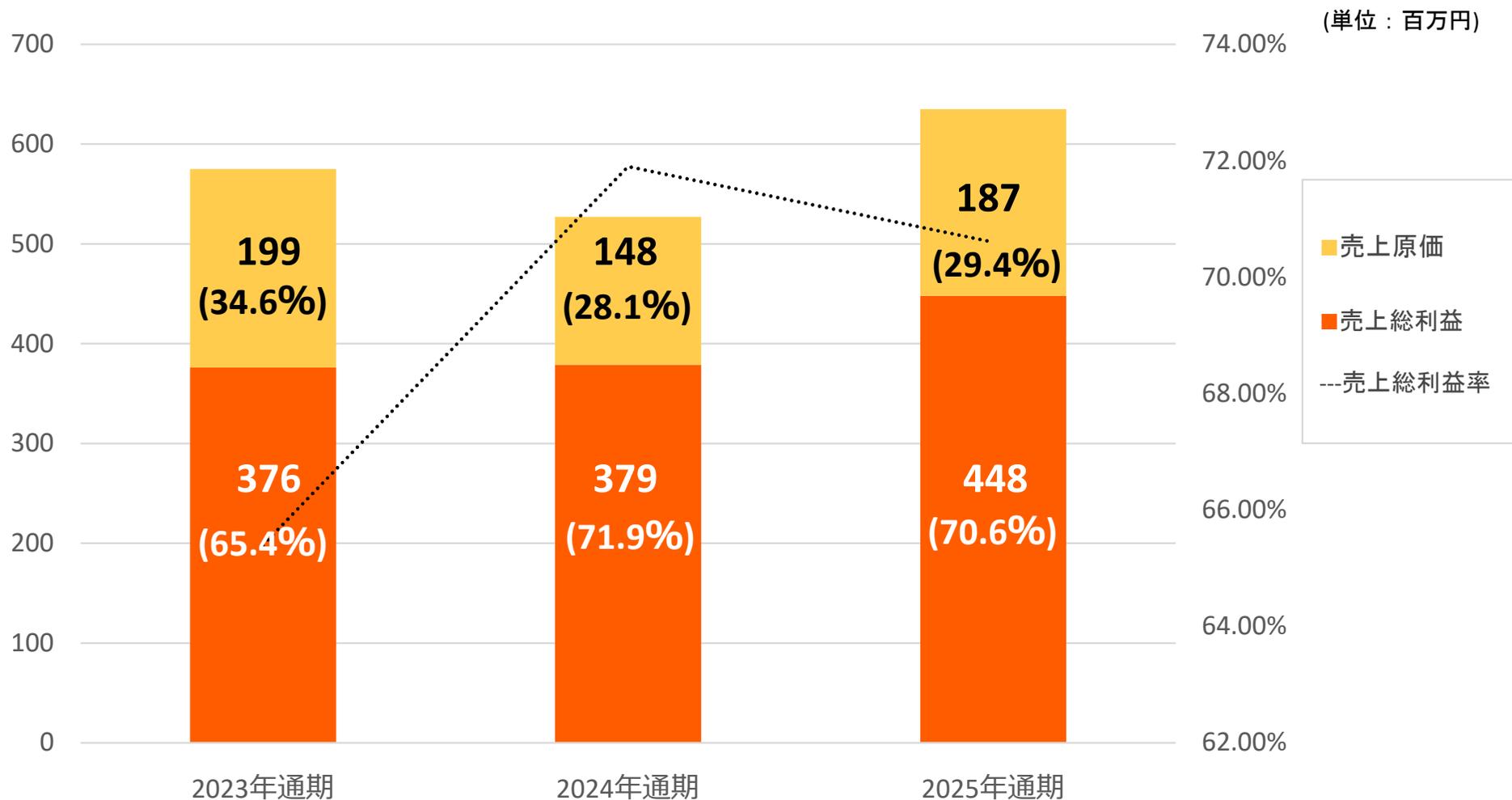
(単位：百万円)

	2025年 期末実績	2024年 期末実績	増減額	増減率
売上高	635	528	+107	+20.4%
（疾患ソリューション事業）	337	407	-70	-17.3%
（マイカルテ事業）	298	120	+178	+148.2%
売上総利益	448	379	+68	+18.2%
営業利益	-452	-654	+201	-
経常利益	-454	-655	+200	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	-539	-819	+280	-
プラットフォーム 投資金額※	142	214	-72	-33.6%

※プラットフォーム投資金額：マイカルテへの投資とプラットフォーム開発への投資の合計

売上総利益/売上総利益率の推移

- PHRプラットフォーム基盤構築により企業向けソリューションパッケージが売上貢献。当該ソリューションの高利益率により経年で全社売上総利益率は増加傾向。

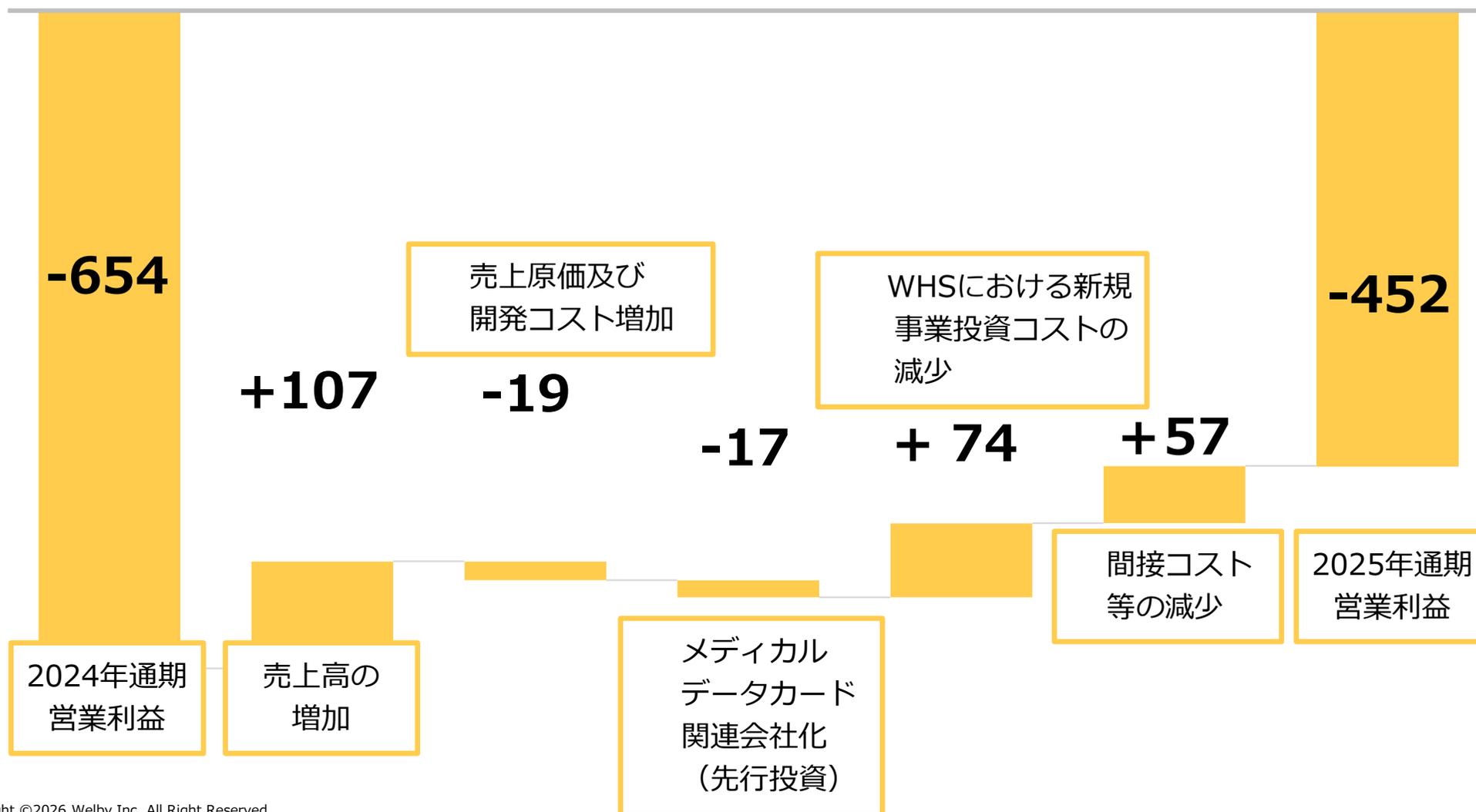


※2023年第1四半期以前は単体決算であるため、前々期の数値は参考データ

営業利益増減の主要ファクター

- PHRプラットフォームを活用した企業向けソリューションパッケージによる採算性改善
- データポータビリティ事業化により、保険者/医療機関向け事業ポートフォリオ強化
- 新規事業の立ち上げPhaseの投資が一巡したことでのコスト効率化によるコスト減少

(単位：百万円)



- 従前より、案件の期末偏重及び一部案件の期ズレにより営業CFはマイナス
- 先行投資などの資金需要に応えるべく、外部からの資金調達を一部実施

(単位：百万円)

BS			
	2025年 期末	2024年 期末	増減額
流動資産	878	973	-95
固定資産	175	193	-17
資産 合計	1,054	1,167	-113
流動負債	359	328	+30
固定負債	388	0	+388
負債 小計	747	328	+418
純資産	306	838	-532
純資産 小計	306	838	-532
負債・純資産 合計	1,054	1,167	-113

CF			
	2025年 期末	2024年 期末	増減額
現預金の期首残高	740	883	-142
営業キャッシュ・フロー	-329	-603	+274
投資キャッシュ・フロー	-105	-235	+130
財務キャッシュ・フロー	406	696	-290
現預金の期末残高	711	740	-29

目次

1

会社概要

2

2025年12月期業績

3

今期重点取組施策と前期進捗

4

今後の成長

5

参考資料

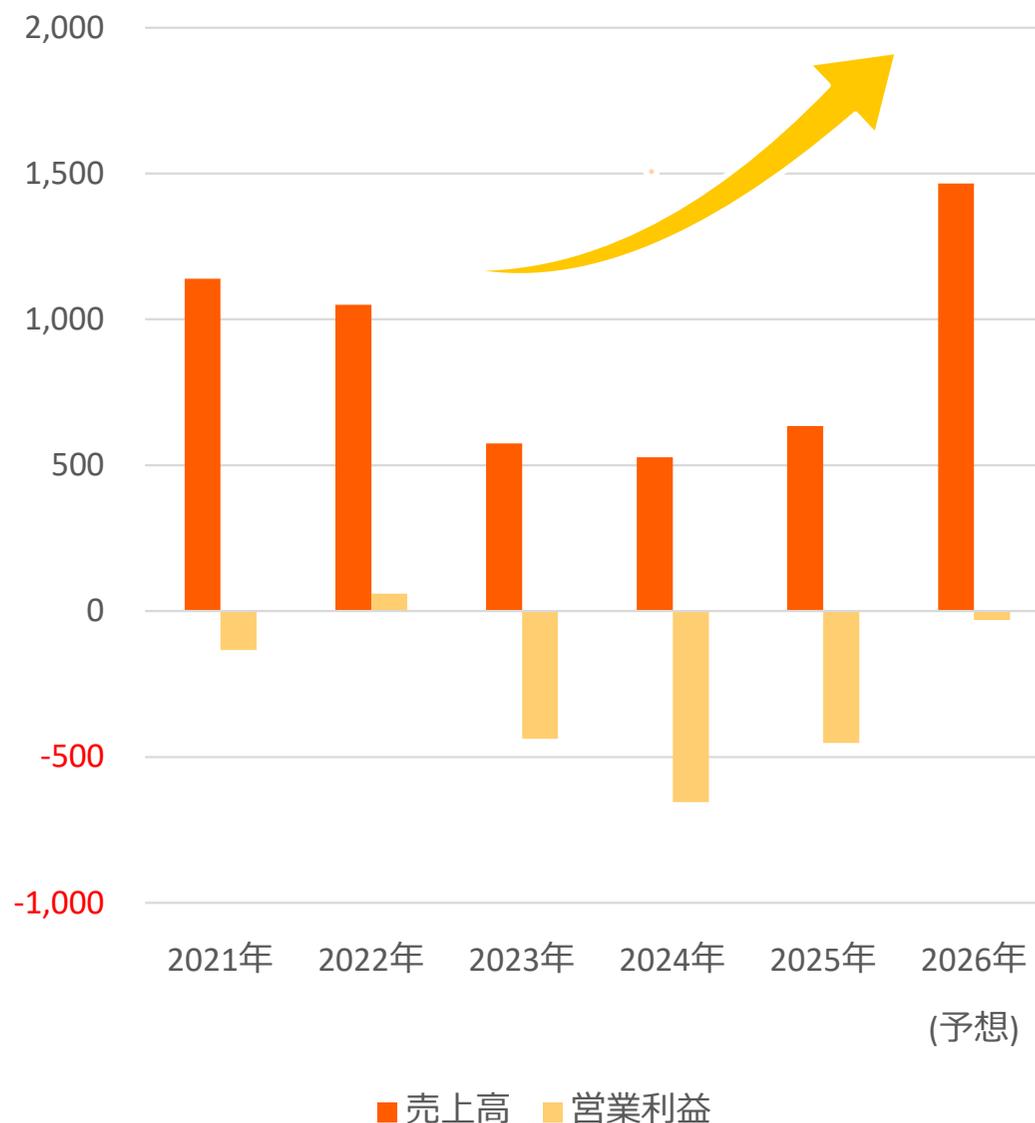
- プラットフォーム基盤構築の投資が一巡し、PHRプラットフォーム事業が収益拡大
- 新規ポートフォリオによる事業収益拡大により過年度より大幅な成長を実現する

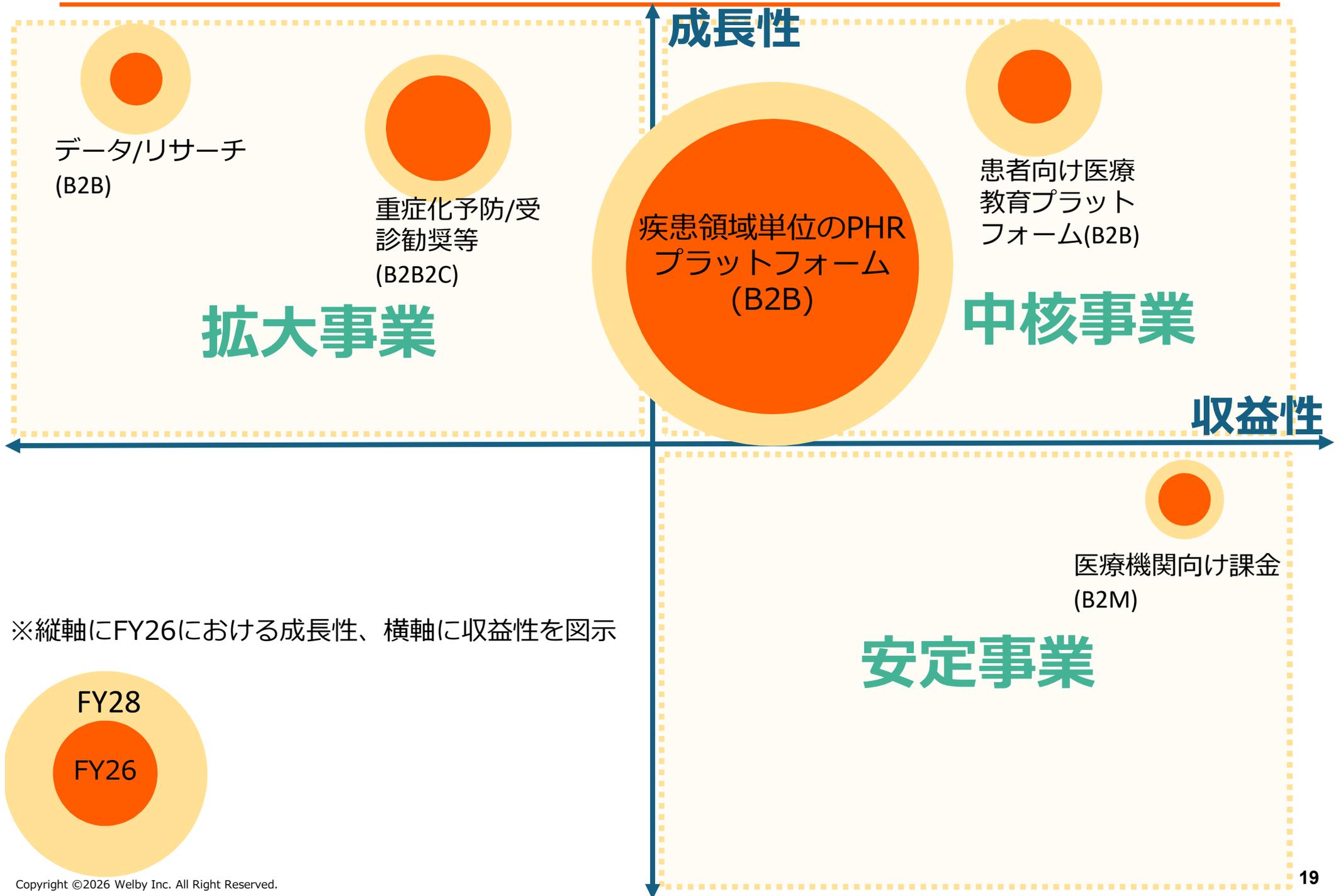
売上高(1,466百万円)

- 疾患領域単位でのPHRプラットフォーム提供による事業拡大
- プライマリー領域及びオンコロジー領域におけるデータ/リサーチ事業の推進
- 患者向け医療教育プラットフォーム事業の立ち上げ
- 健保・自治体向けソリューションとして、重症化予防事業/受診勧奨事業の拡大

営業利益(▲30百万円)

- 会員資産/データ資産の活用強化のための組織強化へ投資
- 当社サービスの医療機関等への普及投資
- オンコロジー領域におけるサービス拡充のための開発投資





疾患ソリューション 事業



PHRの対象疾患領域での活用推進

疾患領域単位でのPHRプラットフォーム提供による事業拡大

オンコロジー領域におけるプラットフォーム化による収益拡大

Real World Dataを活用したデータ/リサーチ事業開発

患者向け医療教育プラットフォーム事業の立ち上げ及び推進

マイカルテ事業



対象疾患領域及びエリアでの医療機関利用規模の拡大

保険者向け健診受診率向上及び重症化予防/受診勧奨事業の拡大

PHRデータ活用と組み合わせた物販事業の立ち上げ及び推進

PHR事業基盤構築



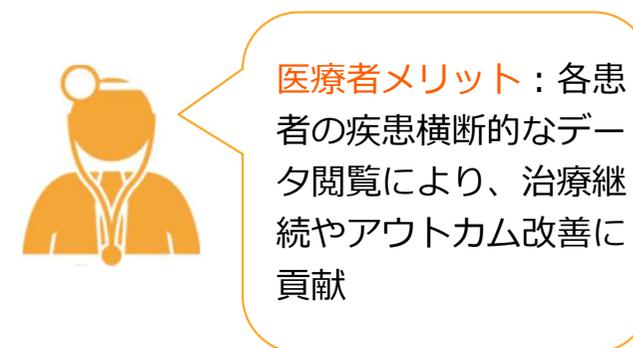
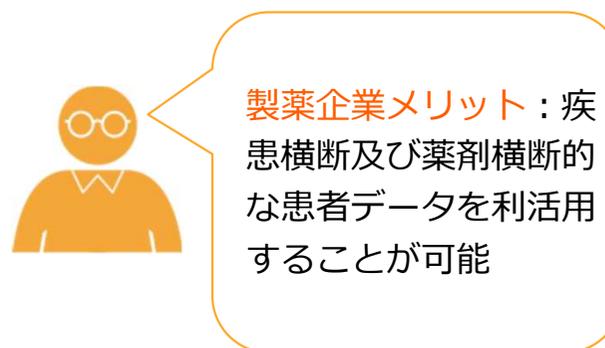
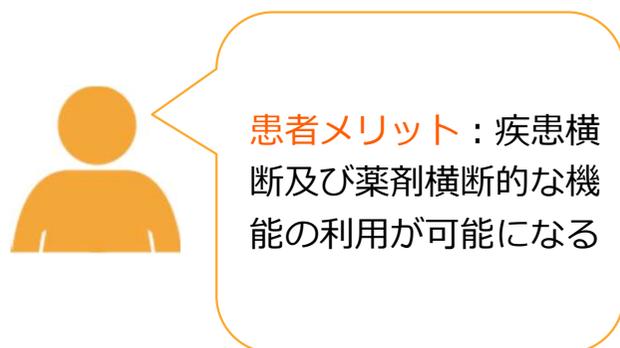
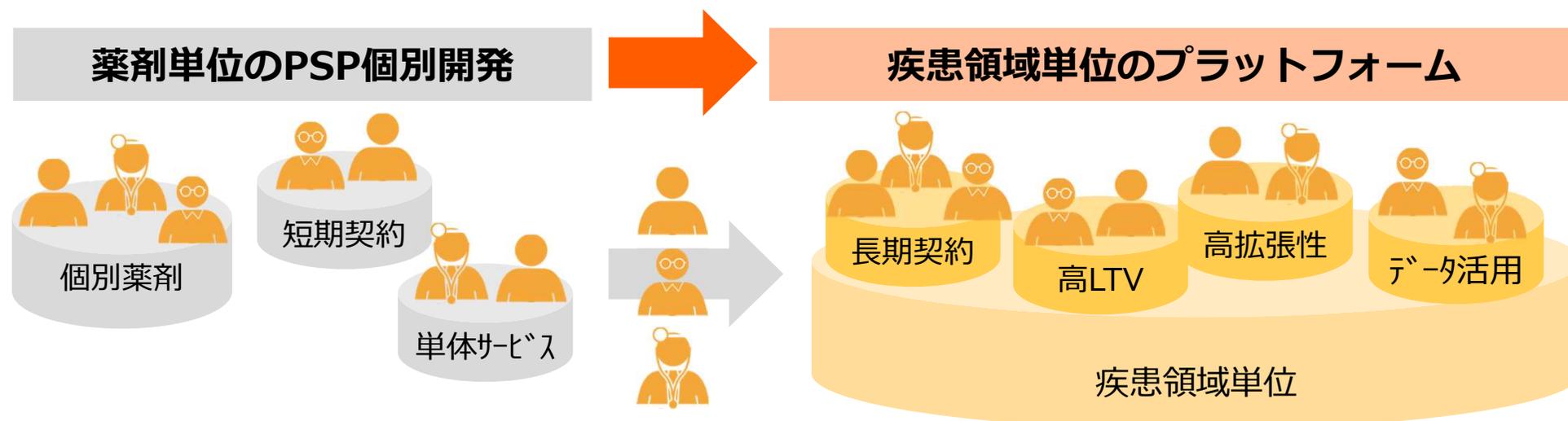
医療+健診+ヘルスケア（健康管理）データの統合とマネジメント品質向上

データポータビリティの推進による医療機関、保険者、企業での適正利用の推進

PHR業界全体としての標準化や事業化への貢献

薬剤単位のPSPから疾患領域単位のプラットフォームへのビジネス転換

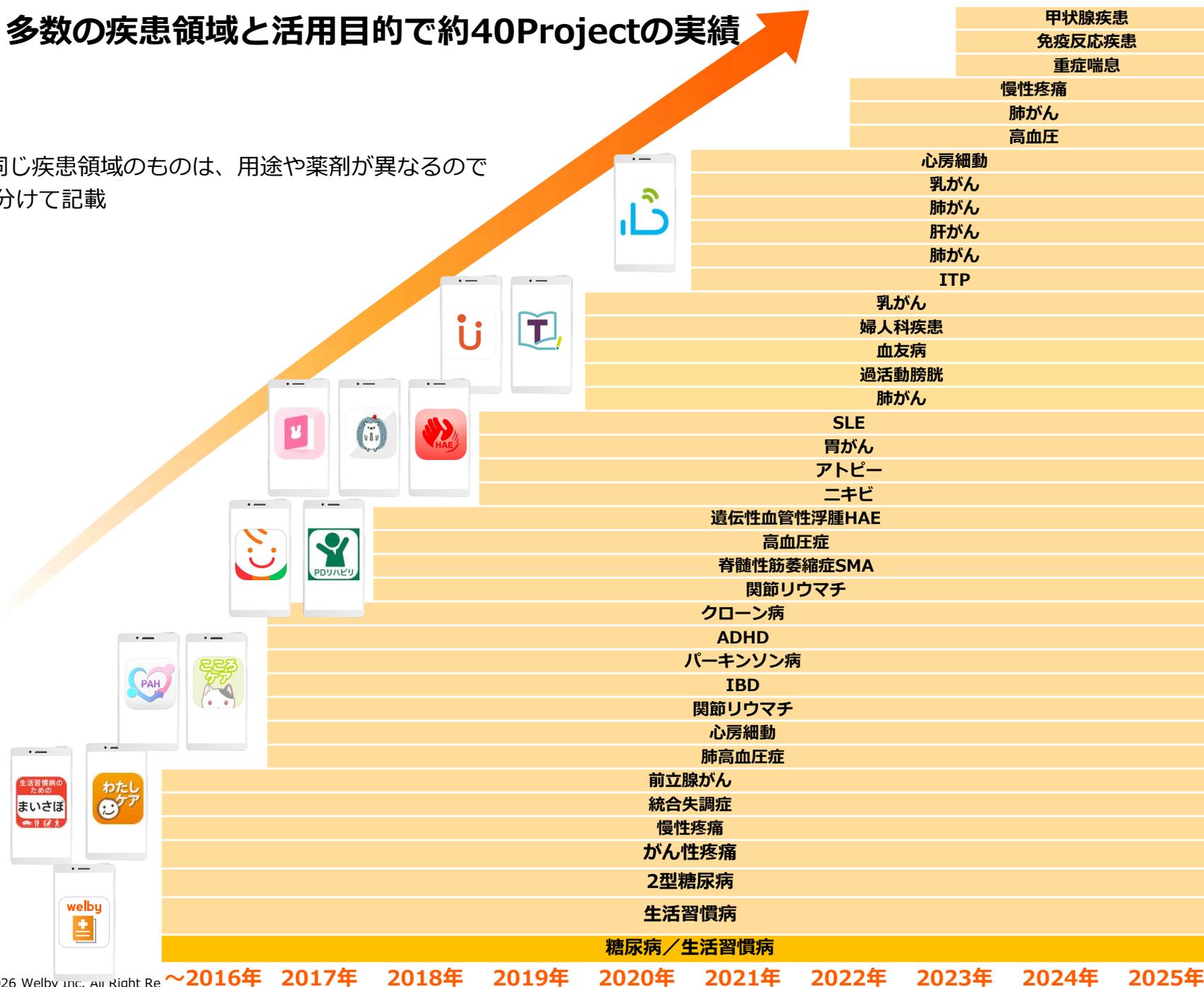
- 薬剤単位のPSP個別開発から、疾患領域単位のプラットフォームモデルへとビジネス転換することにより、領域横断利用による規模拡大及び収益の安定化を実現しつつある
- 疾患領域単位でのデータ蓄積によるデータ/リサーチ事業の拡大を図る



製薬企業向け疾患領域別PHRのOEM開発の拡大

• 多数の疾患領域と活用目的で約40Projectの実績

※同じ疾患領域のものは、用途や薬剤が異なるので分けて記載



オンコロジー領域におけるプラットフォーム化による価値最大化

- 生活習慣病マイカルテプラットフォーム化のモデルを生かし、マイカルテONCプラットフォーム化による『がん領域PHRとしての価値最大化』をはかる

がん領域の市場規模とがん領域PHRの必要性

- 2023年の抗がん剤市場は1.5兆円を突破しており、超高齢社会を迎える2030年に向けて年平均成長率8.7%という高い成長率が見込まれている
- 新たなモダリティの抗がん剤は効果の高いものが多い一方、これまで以上に1薬剤多がん種での副作用マネジメントが重要となる



プラットフォーム化

マイカルテONC

Welby PHR & Data-Portability Platform (WPDP)				
[サービス基盤となる各種モジュールパーツ]				
患者管理	入力	マイカルテONC連携	検索	分析
処方管理	個別化 情報提供・広告	検査データ連携	臨床試験連携	評価
データ連携	医師連携・ ウェアラブル連携	電子カルテ連携	ポイント連携	第三者機関 連携連携・評価
ZERO	同意取得統合管理 (利用規約/外部データ利用/研究参加同意/二次利用)			
	データ管理/PHR DB			
	会員情報管理 (データ名寄せ含む)			

プラットフォーム
基盤

マイカルテONCの医療機関普及

- 全国がん拠点病院へ導入 (FY26末目標: 100施設)
- 自前の医療機関普及体制を重点強化

プラットフォーム化効果とがん領域の価値最大化

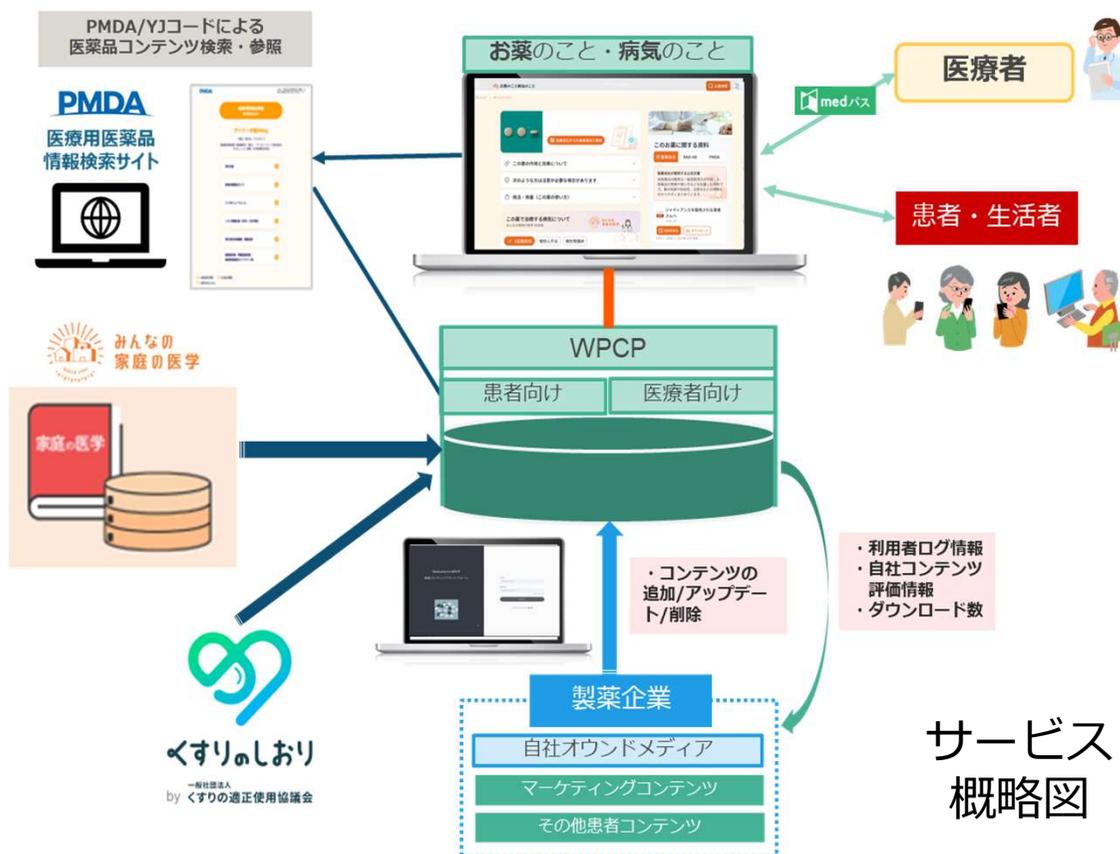
- マイカルテ/WPDPが持つ機能/連携アセット利用
- EHRや他PHR等とのデータ連携・共有
- 1薬剤×複数がん種でのPHR利用
- 臨床研究でのePRO利用 (長期的には治験含む)
- アドヒアランス向上や有害事象管理による継続治療

患者向け医療教育プラットフォーム事業のローンチ

- **PHRでの患者個別のデータに連動して疾患治療に必要な医療情報（疾患治療、薬剤情報、医療コンテンツ、患者情報など）を最新性を担保して提供**

患者向け医療教育プラットフォーム事業コンセプト

製薬企業や医療コンテンツサービス企業が、**患者向けに提供する様々な薬剤・疾患コンテンツ**をPHRデータに連動してマッチングすることで、**必要な人（患者、医療者）に必要なタイミングで必要なコンテンツを最新性を担保した形で届け、患者のリテラシー向上及び医療の質向上に貢献する**



サービス概略図

患者・医療者・製薬企業のメリット

- ① 患者は知りたいお薬の情報に加え、疾患治療の情報も簡単に見つけ出し、わかり易く理解できる
- ② 医療者は患者向けに必要なと考える薬剤コンテンツを本プラットフォームを通じて個人別及びタイムリーに提供できる
- ③ 製薬企業は自社掲載コンテンツの閲覧ログや評価情報等を入手・参照することで、患者に役立つより良い情報コンテンツを届けることができる

PHRを活用した保険者向け事業の推進

- PHRの社会実装として、**みなし健診・受診勧奨・重症化予防の提供**

我が国が直面する社会的課題

超高齢社会の到来

2050年に40%が高齢者、
10%要介護者

生産年齢人口の減少

2050年に総人口20%減少、
生産年齢人口は30%減少

社会保障制度の危機

2040年に医療費・介護費の増加により
社会保障の負担額も約35%増加

※国民医療費2023年度47.3兆円、2040年度79兆円と予測（1.7倍）厚生労働省「医療費の将来予測」

今後さらに医療費適正化に対する取り組み拡大が期待される

医療費適正化ビジネスの拡大

Welbyのソリューション展開

特定健診

二次健診

重症化予防

1 特定健診未受診者に対する
みなし健診

2 二次健診放置群に対する
受診勧奨

3 医療機関と連携した
重症化予防

現行の保険事業施策の課題

実施率

特定保健指導：28%
重症化予防：10%

継続性

支援期間：3-6ヶ月
終了後フォローなし

経済性

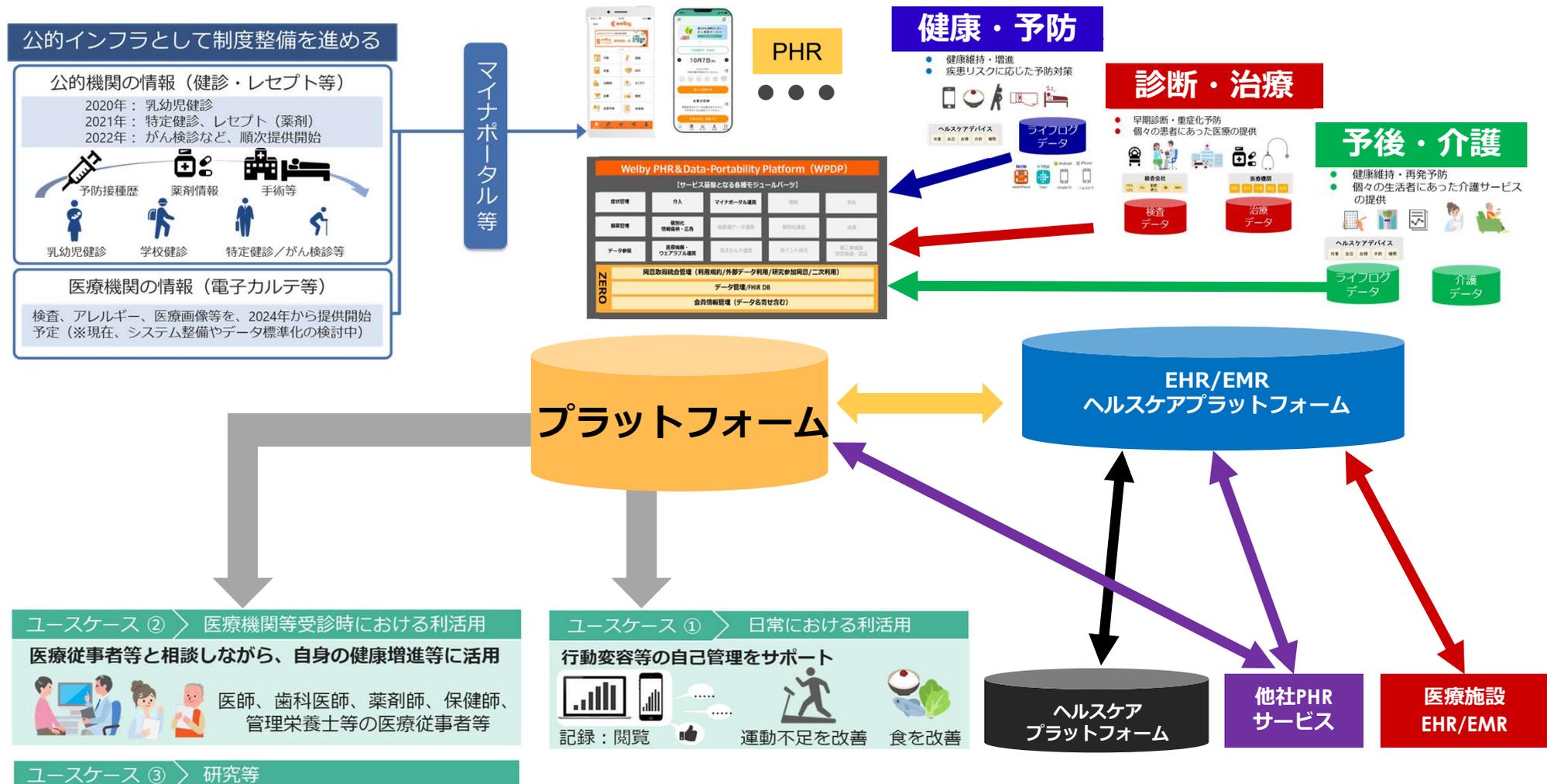
特定保健指導：3万円/名
重症化予防：10-15万円/名

実効性

医療費適正化効果が不明確
実施の（質×量）の不足

医療ヘルスケアデータポータビリティ社会の実現

- 生活者/患者PHRデータ（医療・検診情報含む）を収集・管理することにより、自社独自のユーザ個人に紐づくPHRデータベースを構築。二次同意に基づき医療機関や協業他社とデータ共有でき、医療の質向上に貢献



※厚生労働省「PHR（Personal Health Record）サービスの利活用に向けた国の検討経緯について」を一部加筆修正

プラットフォーム基盤強化と商品開発

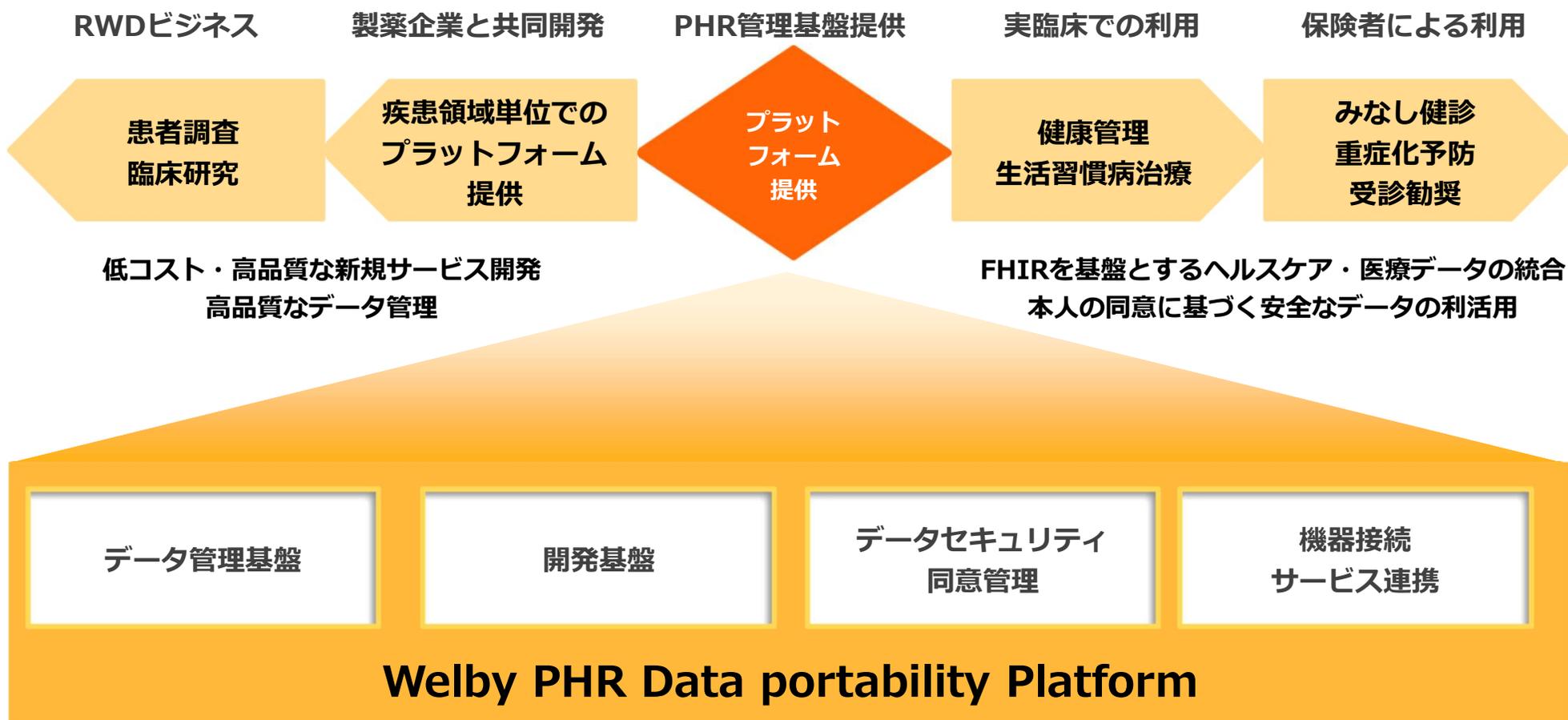
- 医療ヘルスケアデータポータビリティを実現するプラットフォームへの投資は一巡したため、今後は収益基盤強化を図る

疾患ソリューション事業

(対象疾患領域拡大)

マイカルテ事業

(PHRデータ利活用の推進)



PHR業界団体への参画及び発展貢献 ～標準化及びガイドライン策定～

PHRサービス事業協会※1

標準化の 検討

- ユースケース抽出
- メタ項目検討
- ライフログ標準化
- システム化検討

業界 ガイドラインの 改定検討

- PHR指針※2 改定に伴う反映検討
- セキュリティ・個人情報保護
- 疾患7領域別サービス品質事例集
- 広告表示



国のPHR指針を補完する位置づけとして発出

民間事業者のPHRサービスに関わるガイドライン（第3版）

利用者への説明と
同意に基づく
サービスの提供

講じるべき
セキュリティ対策

サービス間のデータ連
携のための標準化

アプリ自体／アプリ内
広告表示の方法

※1 当社代表取締役 比木が副会長を務める

※2 3省（総務省・経済産業省・厚生労働省）がPHRサービス提供者向けに健診等情報の取り扱いについて整理した指針

目次

1

会社概要

2

2025年12月期業績

3

今期重点取組施策と前期進捗

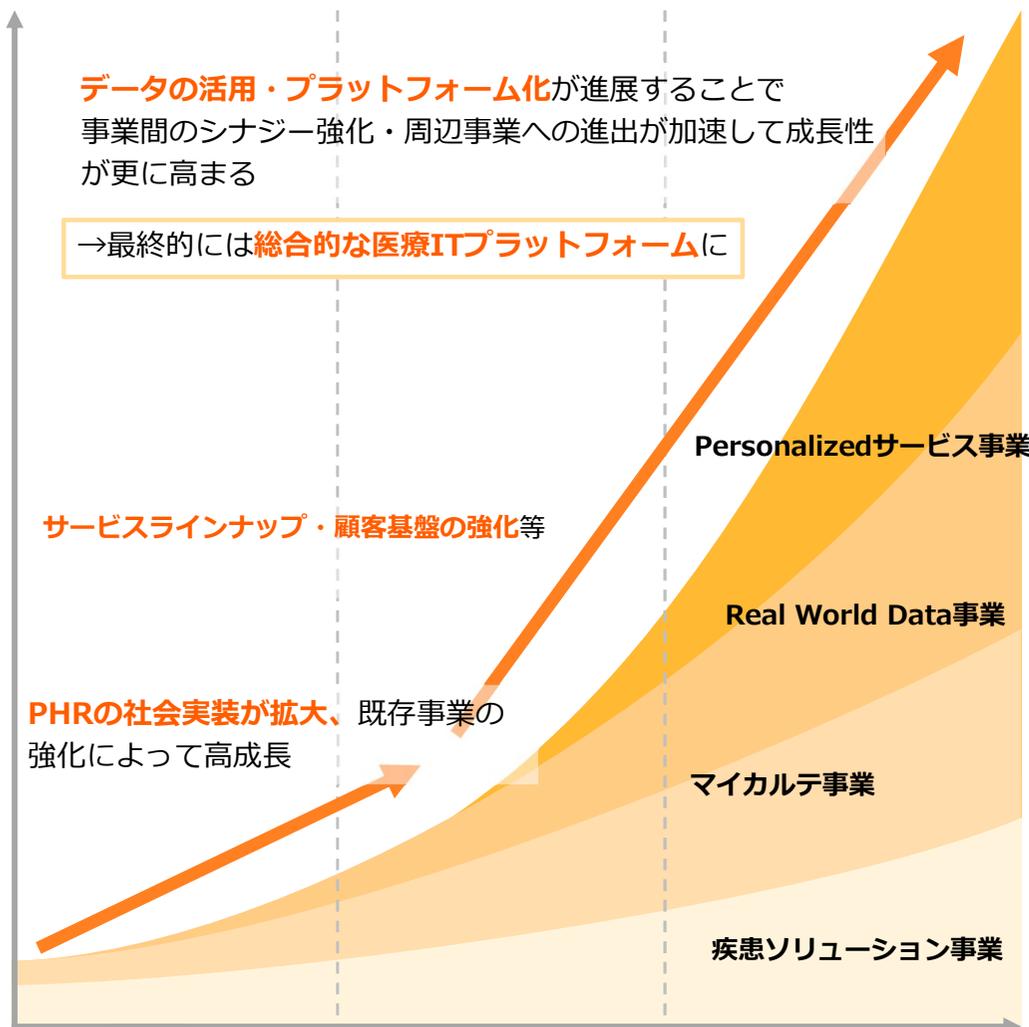
4

今後の成長

5

参考資料

- 短期的に疾患ソリューション事業及びマイカルテ事業で収益拡大を行いつつ、中長期の事業化に向けてPHRの社会実装及び事業開発を推進



現在～短期

✓ 疾患ソリューション事業 :

- PHRの対象疾患領域での活用推進
- 疾患領域単位でのPHRプラットフォーム提供による事業拡大
- オンコロジー領域におけるプラットフォーム化による収益拡大
- データ/リサーチ事業開発
- 患者向け医療教育プラットフォーム事業の立ち上げ及び推進

✓ マイカルテ事業 :

- 対象疾患領域及びエリアでの医療機関利用の拡大
- 保険者向け重症化予防/受診勧奨事業の拡大
- PHRデータ活用と組み合わせた物販事業の立ち上げ及び推進

中期～長期

✓ Real World Data事業

- データ/リサーチ事業拡大
- 臨床研究向けePRO等によるデータソリューションの強化
- 保険者向け重症化予防/受診勧奨事業の拡大

✓ Personalizedサービス事業

- 患者向け医療教育プラットフォーム事業の拡大
- 疾患シミュレーションによる治療支援の立ち上げ
- PHRデータ活用と組み合わせた物販事業の拡大

目次

1

会社概要

2

2025年12月期業績

3

今期重点取組施策と前期進捗

4

今後の成長

5

参考資料

- 新規ドメインの開始によるビジネス転換に伴い、収益構造も変更
- 契約期間は従前のビジネスよりも長期となる

疾患ソリューション事業

クライアント向けに、従前からの疾患PSPから領域単位のプラットフォームとしてライセンスを付与するビジネスモデル。

付随売上としてサービスの初期開発から、ユーザーリサーチ、情報配信まで複数サービスを提供。

ランニング売上として下記の通り計上を行い、LTV最大化を実行。

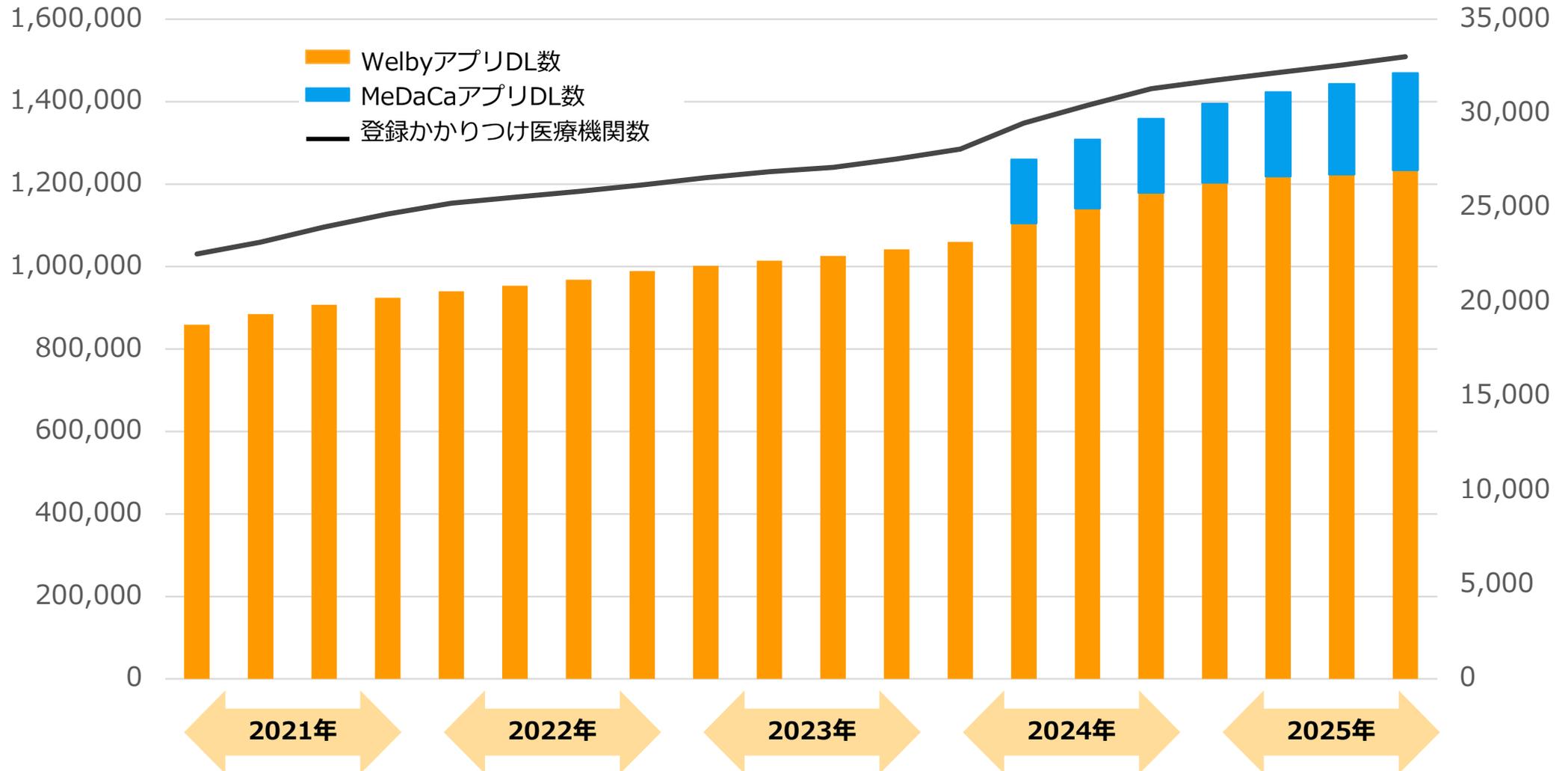
導入／開発	初期開発		情報配信・介入	
	PFライセンス付与		ユーザーリサーチ	ユーザーリサーチ
		改修	改修	改修
ランニング	保守運用売上	保守運用売上	保守運用売上	保守運用売上
	機能毎売上	機能毎売上	機能毎売上	機能毎売上
	PFライセンス売上	PFライセンス売上	PFライセンス売上	PFライセンス売上
	1年目	2年目	3年目	4年目

マイカルテ事業

医療機関/企業/自治体向けに、マイカルテを提供するビジネスモデル。初期上としては、初期導入売上。都度、物販や保険指導等のパッケージも提供。ランニング売上としては、固定利用売上に加えて、利用者等に応じた従量売上で構成。

導入	初期導入			
	物販	物販	物販	物販
	保険指導等パッケージ	保険指導等パッケージ	保険指導等パッケージ	保険指導等パッケージ
ランニング	従量売上	従量売上	従量売上	従量売上
	固定利用売上	固定利用売上	固定利用売上	固定利用売上
	1年目	2年目	3年目	4年目

- 2025年12月末現在でWelbyとMDCを合計したアプリDL146万人超
- 登録かかりつけ医療機関数は3.3万施設超



分類	内容
<p data-bbox="129 300 501 400">疾患ソリューション事業</p> 	<p data-bbox="562 300 2092 384">高血圧患者のPHR血圧管理サポートを強化。Welbyとノバルティスファーマ、降圧目標達成率向上に向けた協業に合意</p> <p data-bbox="562 419 2000 456">造血細胞移植後長期フォローアップを支援するウェブツール「LTFUポケット」を提供開始</p> <p data-bbox="562 491 2092 576">Welbyが日本生命と協働にて『じぶんで血糖チェック』を支援リニューアル、PHR基盤で血糖管理をスマートに進化</p>
<p data-bbox="174 612 456 649">マイカルテ事業</p> 	<p data-bbox="562 612 1794 697">PHRを活用した保険者向け事業として「みなし健診」サービスの事業化を推進 (特定健康診査受診率の向上を推進)</p> <p data-bbox="562 732 2092 817">「PHRを活用した重症化予防」モデルが、横須賀市で始動～「PHRの利活用を推進する取組」として、補助金を活用した新たな重症化予防事業を展開～</p> <p data-bbox="562 852 2092 936">Welby、PHR×フリースタイルリブレを活用した重症化予防事業を展開～医療・健診・保健指導をつなぐ新たなPHRプラットフォーム基盤を構築～</p> <p data-bbox="562 971 2107 1056">Welby、東京内科医会とPHR普及に向けた連携に合意 (生活習慣病の重症化予防と地域医療の強化を目指して)</p> <p data-bbox="562 1091 2107 1176">WelbyとNTTドコモの100%子会社・ミナカラが業務提携、PHRを活用した新たな医療アクセスモデルを構築～保険者向けオンライン診療支援・服薬支援サービスを共同推進～</p>
<p data-bbox="152 1219 479 1256">PHR事業基盤構築</p> 	<p data-bbox="562 1219 2107 1331">メディカルデータカードの子会社化による検査値データ連携強化でのデータポータビリティの推進 プラットフォーム基盤強化への先行投資/案件化を推進</p> <p data-bbox="562 1378 1626 1415">PHR業界団体への参画及び発展貢献 (標準化及びガイドライン策定)</p> <p data-bbox="562 1474 2069 1559">Welby、医療データ利活用のさらなる進化に応え、PHRプラットフォーム「Welbyマイカルテ」をフルリニューアル</p>

大項目	項目	主要なリスク	主な対応策
事業運営	個人情報の取り扱いについて	個人情報流出等の不測の事態が生じて患者個人のプライバシーが侵害される可能性	セキュリティの強化、個人情報保護法を遵守するとともに、情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)であるISO27001の認証を取得。GDPR等諸外国の個人情報保護法制についても、外部弁護士等専門家に確認をしながら対応
事業環境	競争について	PHR業界での競争は同様の規模感のものは現在明確に存在しないが、今後高い知名度、幅広い顧客基盤を有する他社の参入等、当社の競争優位性が低下する可能性	対象疾患領域での早期のユーザー獲得、提供アプリの最適なUI/UXを追求した機能設計、特色あるサービスの提供、取引の安全性の確保やカスタマーサポート充実への取り組みなどにより対応
その他	各種規制について	関連法令や業界団体による規制等の改廃、新設が行われた際に、当社が何らかの対応を余儀なくされる可能性	渉外担当者を通じて制度改正のモニタリングや管轄官庁と連携して対応
事業運営	収益の季節変動性について	外資系製薬企業の決算が集中する第4四半期における売上高及び利益がそれらの時期に集中する傾向	内資系製薬企業や他業種からの受注を拡大するなど案件の平準化により対応

※有価証券報告書記載の【事業等のリスク】に記載の内容のうち、主要なリスクを重要度が高い順に抜粋。その他のリスクは有価証券報告書を参照。

回次		第11期	第12期	第13期	第14期	第15期
決算年月		2021年12月	2022年12月	2023年12月	2024年12月	2025年12月
売上高	(千円)	1,139,189	1,050,994	575,496	528,043	635,724
経常利益又は 経常損失 (△)	(千円)	△ 109,671	73,641	△ 438,840	△ 655,726	△ 454,737
当期純利益又は 当期純損失 (△)	(千円)	△ 130,675	33,909	△ 505,288	△ 819,751	△ 539,688
資本金	(千円)	916,650	916,650	916,650	1,167,250	1,167,250
発行済株式総数	(株)					
普通株式		7,832,800	7,832,800	7,832,800	8,275,582	8,275,582
A種優先株式		—	—	—	—	—
純資産額	(千円)	1,259,278	1,274,118	1,117,813	838,339	306,321
総資産額	(千円)	1,394,108	1,395,516	1,205,338	1,167,243	1,054,209

※当社は 2019年10月4日付で1株につき4株に分割しました。

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。

本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的にも黙示的にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、「事業計画及び成長可能性に関する事項」において、進捗状況を含む最新の内容を半期決算毎に開示する予定です。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

